

# 要 望 書

苫小牧市商店街振興組合連合会

# 要 望 書

## 1 市商連への財政支援について

本年も新型コロナウイルス感染拡大により商店街は多大な影響を受けております。そんな状況においても商店街は、買物の場であるのみならず地域住民の安全安心、福祉の向上、環境対策や生活支援などに取り組んで参りました。この間、苫小牧市が商店街への新型コロナウイルス感染対策にご支援いただいたことに感謝申し上げます。引き続きご支援をお願いいたします。連合会は、住民のニーズが多様化するなかで商店街が地域コミュニティの担い手としての役割が多くなってきていることを痛感しております。こうした商店街の果たす役割の重要性に鑑み、本連合会の基盤強化と健全な運営を行っていくため、一般事業補助金の増額を要望します。

## 2 駅前中心街の再生について

旧サンプラザビルが閉鎖してから既に7年余りが経過しておりますが、未だに解決に至っておりません。白老町では民族共生象徴空間が開館し、今後苫小牧市においてもインバウンドの増加が見込まれます。苫小牧市の顔である駅前広場を含む駅前中心街の再生については、旧サンプラザビルの解決が大きく影響すると考えられますので、この問題の早期解決を要望します。

## 3 商店街街づくりサポートセンターの設置について

本市の商店街を取り巻く環境は厳しく、消費税の増額や新型コロナウイルスの感染拡大による売上の不振、経営者の高齢化、後継者問題、空き店舗の増加等大変厳しい問題が山積しています。このような中、地域商店街を支援する組織を立ち上げ、国、道、市等の支援策を積極的に活用できる体制づくりの為に、商店街街づくりサポートセンター設立の支援を要望します。

## 4 地域商店会の要望について

- (1) シンボルストリートはバリアフリー化の整備路線として建設されました。しかし、29年以上が経過し歩道の劣化及びガードフェンスの損傷が著しい箇所があります。歩行者が安全に通行するために支障のない歩道の整備及びガードフェンスの改修を要望します。  
(駅前通商店街、駅通中心商店街)

- (2) 苫小牧市店舗改装補助金は、商店街組織に加盟して1年以上経過し商店街での活動実績があること、市内で営業する既存の店舗で、概ね3年以上連続して経営していること。

「過去に補助金を受けていないこと。」とあります。

街なかの賑わいを促進するためにも、店舗のリニューアルは必然と考えております。つきましては、苫小牧市店舗改装補助金につきましては、数年に一度再申請ができるものに要望します。

(駅前通商店街、駅通中心商店街)

- (3) 本年3月に、錦町地区の一部「高度利用地区」が解除になりました。このことにより、平屋建てから複層階の建物は容積率に応じた建物の建築が可能となります。「高度利用地区」が解除されることで、錦町地区及び周辺にもたらす影響、これからの街づくりがどのように行われているのか将来的な展望をお示しください。

(駅前通商店街、駅通中心商店街)

令和3年12月20日

苫小牧市長 岩倉博文様

苫小牧市商店街振興組合連合会  
理事長 秋山集